

川崎から **STOP** 地球温暖化

かわさき地球温暖化対策推進協議会ニュース

Vol.8 2009年8月24日発行

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東 3-1100-12 かわさき市民活動センター内レターケース13 アクト川崎
<http://www.web-k.jp/actkawasaki/index.html> メール act.kawasaki@gmail.com



エコロジーでエコノミー
エコちゃんず

CC かわさき環境ミーティング開催！



CC かわさき
エコ戦略のこれから



麻生区自然
エネルギー
活用促進事
業実行委員
会の展示
(4日)



(左)グリーンコンシューマーグループ
中山さん (8日)
(中)ソーラーチーム
岩本さん (10日)
(右)主催者挨拶
CC 川崎エコ会議副会長
原さん (8・10日)

川崎市と川崎地球温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）の共催により、7月4日、8日、10日の3日間にわたり「CCかわさき環境ミーティング」が開催されました。

前半は、市長からCCかわさきの取組や、7月中にパブリックコメント手続きを行っている「(仮称)地球温暖化対策条例の基本的な考え方 (<http://www.city.kawasaki.jp/pubcomment/info360/index.html>)」について説明がありました。(注：現在、意見募集は終了しています。)

後半のパネルディスカッションでは、市民・事業者の代表と意見交換が行われ、第2回では、中山育美さん(市民部会グリーンコンシューマーグループ)からエコショッピング・クッキングや1店1エコ運動などの取組が、第3回では、岩本孝子さん(市民部会ソーラーチーム)から市民共同おひさま発電所の取組が紹介されました。会場からも多くの質問が寄せられるなど、活発な意見交換が行われました。

川崎市では、こうした意見交換の内容を踏まえ、地球温暖化対策条例の制定や川崎市地球温暖化対策地域推進計画の改定を進めていくこととしています。

STOP!地球温暖化 各区の取組も活発に

「エコシティたかつ」における取組～持続可能な地域社会をめざして～

高津区では、地球温暖化対策等の総合的な環境問題への取組を、地域レベルにおいて、市民協働により推進をすることを目的に、今年三月「エコシティたかつ」推進方針を策定しました。この推進方針に基づき、緑のカーテンの普及啓発や区役所庁舎の環境展示場（エコシティホール）化など様々なプロジェクトを推進しています。



昨年の高津区「緑のカーテン」コンテスト団体部門最優秀賞 西梶ヶ谷小学校

麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会

当実行委員会は、平成14年度に麻生区区制20周年記念事業として麻生区役所屋上に設置された、太陽光発電設備設置を契機として発足しました。現在、自然エネルギーの活用促進、省エネルギーを目的として、麻生区民と行政が協働し普及啓発活動を行っています。



夏休みに行った普及啓発イベント「おひさまと遊ぼう」

「緑のカーテン&環境“楽習会”」(中原区)

中原区 STOP! ヒートアイランド対策事業として、5月から中原区役所が開催している楽習会も7月27日で3回目。最初に省エネの学習を行い、富士通(株)川崎工場の生ごみ堆肥、ソーラークッカー、ゴーヤの緑のカーテンを見学した後、親子でふろん太君と一緒に打ち水も体験しました。



ふろん太君と楽しく打ち水大作戦



協働(パートナーシップ)に基づく温暖化対策に関する勉強会



7月22日、温暖化対策に精通されている上智大学大学院地球環境学研究科の柳下正治教授をお迎えし、「協働(パートナーシップ)に基づく温暖化対策に関する勉強会」をかわさき地球温暖化対策推進協議会の主催で行いました。

テーマとしては、(昨年改正された地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)により、政令市等においても設置可能となった)「地球温暖化防止活動推進センター」に期待される役割等について、ご説明くださいました。

現在、川崎市においても「地球温暖化防止活動推進センター」の設置に向けて検討を進めていることもあり、市民、事業者や行政の方々に多く参加いただき、意見交換が行われました。



インターナショナルフェスティバルに出展(7/5)

川崎市国際交流センターで7月5日に開催された川崎市国際交流協会と民間交流団体主催のインターナショナルフェスティバルに、今年も市民部会のグリーンコンシューマーグループ(写真上)、省エネグループ、ソーラーチーム(写真下)が参加しました。さらに、川崎市新エネルギー振興協会も初参加。太陽光で動くおもちゃ、手回し発電、エコな買い物クイズなどが子どもの人気を集めていました。



(写真下)あいにくの曇り空の下、ソーラー・省エネの展示



「夏休みエコライフチャレンジ」今年もスタート!

協議会市民部会省エネグループでは、川崎市内の省エネ活動を推進することを目的に“夏休みエコライフチャレンジ”を実施しています。これは、夏休みの2週間、子どもたちが省エネ活動に挑戦する省エネカレンダーの活動です。

協議会の学校部会や校長会の理解と協力を得て、平成17年度より川崎市の全小学校に呼びかけて実施し、4年間で延べ147校(89校が1回以上は参加)、5,410名の5年生がエコライフチャレンジに参加しています。

今年も継続して実施します。興味のある方は一緒に活動しましょう!!(連絡はアクト川崎まで) 市民部会省エネグループ



第9回太陽と遊ぼう(7/26)

7月26日、東高根森林公園で実施。とても天気良く、ソーラークッキングによる調理(焼きも、五目御飯など)がどんどん出来て、同時開催していたフリーマーケットや来園者の皆さんに、お日様の力のすごさを感じてもらうことができました。他にも自然エネルギーの展示、環境紙芝居、手回し発電機体験、工夫をこらしたエコクイズなどで盛り上がり、市民部会の普及啓発活動の充実ぶりを感じた1日でした。

市民部会ソーラーチーム

ソーラーカーレースとソーラークッキング



エコクイズ、ゴールに到達できるかな?



イベント終わって皆で記念写真



エコ調査隊が行く!(7/27)

2009年7月27日、モトスミ・ブレイメン通り商店街で「エコ調査隊」が行われました。これは1店1エコ運動に取り組む店舗へ、近隣の小学生がインタビューしてまわり、取組状況をチェックするものです。住吉小、井田小、東住吉小、木月小から23名が参加し、井田中学校からもスタッフ兼隊員として10名が参加し、暑い中、子どもたちが元気よく実施しました。お店がエコに継続的に取り組むためにも効果的なものになっています。

市民部会グリーンコンシューマーグループ



生田緑地サマーミュージアムに出展(8/1~2)



川崎市生田緑地で開催されたサマーミュージアムも今年で2回目。今年は温暖化問題にも広がりを見せ、8/1(土)に、省エネグループとソーラーチームが、8/2(日)にはグリーンコンシューマーグループが初出展しました。ソーラークッキング、太陽光で動くおもちゃ、手回し発電(写真上)、ステンシルによるマイバッグづくり(写真下)にそれぞれ大勢の方達が参加して、温暖化防止に関心を寄せていました。



市民部会



川崎市内事業者の環境への取組 その8 生活協同組合 コ-プかながわ

地球の温暖化の進行や容器包装リサイクル法の改正によって、レジ袋の有料化が話題になりましたが、コ-プの「お買物袋の持参」運動は、全国の生協に先駆けて、1982年にコ-プかながわで始められました。

当時は生活必需品の単価を下げることを目的とした取組みでしたが、今では「環境を守る」取組みとして注目され、その先駆的な役割は大きかったといえます。

現在ではコ-プでお買物をする9割以上の方が「マイバック(マイバスケッ)持参」で利用され(一般スーパーでは約

2割)、全国でもトップレベルの取組となっています。なお、この取組みにより、2007年度は、約4742万枚のお買物袋(レジ袋)を削減することができました。



お買物物をレジかごから移し変えて自宅に持ち帰れるマイバスケッ制度は2000年からスタート

「かわさきコンパクト」とは



2006年に川崎市は、企業・組織が人権、労働、環境、腐敗防止の4分野10原則を支持し、実践する「国連グローバル・コンパクト(協定)」に参加し、この理念の市内展開である「かわさきコンパクト」を定めました。現在ビジネス・コンパクト登録企業は12社、NPO法人アクト川崎も参加している市民コンパクト登録数は8団体です。今後もこの取組の輪を広げていきます。

詳細はかわさきコンパクトホームページを御覧ください。

<http://kawasaki-compact.com/>

市民共同おひさま発電所 in 川崎市国際交流センター 1周年記念イベント

多くのみなさまの募金とグリーン電力基金によって川崎第1号の市民共同おひさま発電所が昨年8月に設置されてから、1年が経ちました。おかげさまで順調に発電を続け、地球温暖化防止に役立っています。また、国内外から毎月のように見学者が訪れ、発電所を中心に新しい交流ができていると感じています。この度、1周年記念講演会を開催し、併せてこの間の経過をご報告することになりました。講師には、環境問題で世界に発信を続けている枝廣淳子さんを迎えます。どうぞ皆様ご参加ください、お待ちしております。



市内外から訪れた多数の見学者

講演会 「地球温暖化防止のために市民ができること～COP15における日本の役割～」
講師 枝廣淳子さん(ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表、有限会社イズ代表)
日時 2009年9月5日(土) 17:30～19:30(17:00開場)
会場 川崎市国際交流センター1階レセプションルーム
参加費 無料(直接ご来場ください)
問い合わせ TEL&FAX 044-422-7343(NPO法人アクト川崎事務局)
主催 かわさき地球温暖化対策推進協議会・川崎市民共同発電所プロジェクト
後援 川崎市・(財)川崎市国際交流協会



枝廣淳子さん

発行 かわさき地球温暖化対策推進協議会
編集 NPO法人アクト川崎
発行日 2009年8月24日 vol.8
連絡先 〒210-8577 川崎市環境局地球環境推進室 TEL 044-200-3871/FAX 044-200-3921